



関西国際空港に、日本産農産物を販売する「J's Agri Market」がオープン - 日本のフルーツを手軽にお土産に！ 事前予約で空港受け取りも！ -

関西エアポート株式会社は、関西国際空港第1ターミナルビル国際線ゲートエリア内に日本産農産物を販売する店舗「J's Agri Market (ジェイズアグリマーケット)」がオープンすることをお知らせします。

同店は、国際線の出国審査後のエリアで、訪日外国人の購買ニーズが高いみかんやいちご、シャインマスカットなど旬の果物を中心に取り扱います。また、「J's Agri」ECサイトで日本出国の7日前までに購入すると、出国時に「J's Agri Market」で検疫済みの商品を受け取ることもでき、訪日外国人の手ぶら観光の促進にもつながります。

関西エアポート株式会社は、今後も空港をご利用されるお客様に、便利にお買い物を楽しんでいただけるような店舗展開を進め、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

○概要

店名	J's Agri Market
開業日時	2018年12月3日(月)
営業時間	8:30~19:30
運営会社	株式会社JTB
業態	検疫済国産農産物販売店舗
取扱品目	日本産農産物(主に果物を中心に販売)



※画像はイメージです

※渡航先の輸入制限を順守するため、購入できる商品は渡航先により異なります。

※第三国経由便を利用する場合は、経由地で入国しないこと及び商品を開封しないことが必要となります。

※航空会社が定める機内持込制限以内での販売数量となります。

○J's Agri EC サイトによる予約販売

「J's Agri」ECサイトで7日前までに予約購入すると、日本出国時に空港内の「J's Agri Market」で商品が受取可能となります。

- ・取扱商品：日本全国の農林水産物・食品
- ・販売サイト：<https://js-agri.jp/en> (英語) <https://js-agri.jp/zh-tw> (繁体字)

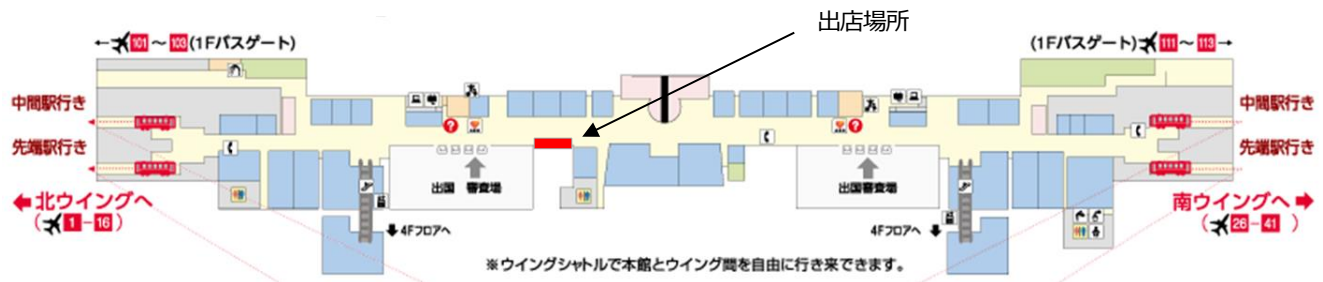
※事前購入予約をすることにより、植物検疫検査済みの商品を出国時に確実に受け取ることができ、海外への輸送コストもかからずに済むメリットがあります。

※事前購入予約により空港で受け取れる商品、渡航先には制限があります。



「J's Agri」ECサイトイメージ

○出店場所：第1ターミナル国際線ゲートエリア北側



【本お知らせに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム
Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号 (登記上)	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、44空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル (リスボンのハブ空港含む)、イギリス、スウェーデン、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で250社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億8,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ (関連会社含む) に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構